



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 安永

コード番号 7271 URL <http://www.fine-yasunaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安永 暁俊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長

(氏名) 浅井 裕久

TEL 0595-24-2122

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	24,716	△10.7	505	△58.0	424	△62.4	17	△97.7
24年3月期第3四半期	27,666	5.3	1,203	△37.4	1,130	△35.6	772	△30.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 10百万円 (△98.2%) 24年3月期第3四半期 586百万円 (△47.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1.49	—
24年3月期第3四半期	64.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	29,627	10,793	36.4
24年3月期	30,397	10,937	36.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 10,793百万円 24年3月期 10,937百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	8.00	18.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,720	△7.1	370	△68.5	280	△73.5	△60	—	△5.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) ヤスナガ タイランド コーポレーション リミテッド、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	12,938,639 株	24年3月期	12,938,639 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	975,222 株	24年3月期	975,126 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	11,963,470 株	24年3月期3Q	11,963,588 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速による輸出の減少や生産活動の停滞など後退局面にありましたが、12月に新政権が発足して金融緩和や景気対策への期待が高まった事もあり、円高の是正や株価上昇など、景気変化の兆しが見られました。

当社グループの主要販売先である自動車業界は、国内では、東日本大震災からの回復に加えエコカー補助金効果により平成24年の生産・販売台数ともに前年を上回りました。海外においては、世界最大市場の中国は景気減速や渋滞緩和規制の影響により新車販売台数の伸び率が1ケタ台にとどまりましたが、北米や東南アジア等の市場は堅調に推移しました。

一方、太陽電池業界においては、日本での再生可能エネルギー固定価格買取制度等により需要は増加しているものの、世界的な供給過剰や価格下落により太陽電池メーカーや関連部材メーカー等を取り巻く環境は厳しく、設備投資が減少しております。

このような企業環境下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高247億16百万円（前年同期比10.7%減少）、営業利益5億5百万円（前年同期比58.0%減少）、経常利益4億24百万円（前年同期比62.4%減少）、四半期純利益17百万円（前年同期比97.7%減少）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

【エンジン部品事業】

エコカー補助金効果等により好調な国内自動車メーカー向け及び成長市場であるインドネシアでの売上が増加した結果、売上高は192億50百万円（前年同期比2.9%増加）となりました。収益面では、継続的な原価低減活動及び固定費の削減に取り組んできた結果、営業利益は9億93百万円（前年同期比1.2%増加）となりました。

【機械装置事業】

自動車向けの工作機械は、海外自動車メーカー向けの販売が減少し、売上は低調となりました。

一方の太陽電池関連は、市場環境の悪化により太陽電池メーカーの設備投資が抑制されているため、ワイヤソー等の販売が引き続き低迷しました。

その結果、売上高は31億29百万円（前年同期比54.9%減少）、営業損失は6億9百万円（前年同期は1億7百万円の営業利益）となりました。

【環境機器事業】

新型エアープンプ及びディスポーザシステムの販売が売上に寄与した結果、売上高は20億74百万円（前年同期比16.6%増加）、営業利益は90百万円（前年同期比75.5%増加）となりました。

【その他の事業】

当セグメントには、運輸事業及びサービス事業を含んでおります。

売上高は2億61百万円（前年同期比9.0%増加）、営業利益は31百万円（前年同期比25.7%増加）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7億69百万円（前連結会計年度末比2.5%）減少し、296億27百万円となりました。

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5億10百万円（前連結会計年度末比2.8%）減少し、176億82百万円となりました。

この減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少5億95百万円等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2億59百万円(前連結会計年度末比2.1%)減少し、119億45百万円となりました。

この減少の主な要因は、建物及び構築物の増加10億18百万円等がありますが、建設仮勘定の減少11億70百万円等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ7億10百万円(前連結会計年度末比5.7%)減少し、118億70百万円となりました。

この減少の主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加3億24百万円等がありますが、未払金の減少10億16百万円等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ85百万円(前連結会計年度末比1.2%)増加し、69億64百万円となりました。

この増加の主な要因は、長期借入金の増加1億87百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1億44百万円(前連結会計年度末比1.3%)減少し、107億93百万円となりました。

この減少の主な要因は、利益剰余金の減少1億37百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年10月11日付で公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立したヤスナガ タイランド コーポレーション リミテッドを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ63百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,650	3,812
受取手形及び売掛金	7,164	6,569
商品及び製品	960	770
仕掛品	3,213	4,213
原材料及び貯蔵品	1,554	1,472
繰延税金資産	252	107
未収入金	476	396
その他	1,148	564
貸倒引当金	△227	△224
流動資産合計	18,193	17,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,615	9,634
減価償却累計額	△5,717	△5,851
建物及び構築物(純額)	2,898	3,782
機械装置及び運搬具	21,421	22,337
減価償却累計額	△17,528	△18,322
機械装置及び運搬具(純額)	3,892	4,014
工具、器具及び備品	6,353	6,455
減価償却累計額	△6,020	△6,054
工具、器具及び備品(純額)	332	401
土地	1,911	1,954
建設仮勘定	1,797	627
有形固定資産合計	10,833	10,780
無形固定資産		
のれん	53	41
その他	82	76
無形固定資産合計	135	118
投資その他の資産		
投資有価証券	516	539
繰延税金資産	182	148
その他	1,014	837
貸倒引当金	△478	△478
投資その他の資産合計	1,235	1,046
固定資産合計	12,204	11,945
資産合計	30,397	29,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,624	4,410
短期借入金	2,100	2,300
1年内返済予定の長期借入金	1,713	2,038
1年内償還予定の社債	60	60
未払金	2,952	1,936
未払法人税等	32	88
賞与引当金	460	165
工事損失引当金	13	25
訴訟損失引当金	38	—
設備関係支払手形	20	181
リース資産減損勘定	223	223
その他	341	440
流動負債合計	12,581	11,870
固定負債		
社債	180	150
長期借入金	6,065	6,252
繰延税金負債	—	86
退職給付引当金	77	78
役員退職慰労引当金	58	65
環境対策引当金	76	76
資産除去債務	74	74
長期リース資産減損勘定	346	178
固定負債合計	6,878	6,964
負債合計	19,459	18,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	7,251	7,113
自己株式	△330	△330
株主資本合計	11,178	11,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120	139
為替換算調整勘定	△361	△387
その他の包括利益累計額合計	△240	△247
少数株主持分	0	0
純資産合計	10,937	10,793
負債純資産合計	30,397	29,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	27,666	24,716
売上原価	23,800	21,803
売上総利益	3,866	2,913
販売費及び一般管理費	2,662	2,407
営業利益	1,203	505
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	6	5
受取賃貸料	17	21
貸倒引当金戻入額	30	—
その他	37	50
営業外収益合計	98	88
営業外費用		
支払利息	67	77
為替差損	68	35
その他	35	56
営業外費用合計	171	169
経常利益	1,130	424
特別利益		
固定資産売却益	35	32
その他	—	0
特別利益合計	35	32
特別損失		
固定資産売却損	0	—
減損損失	8	—
固定資産除却損	5	7
投資有価証券評価損	48	—
リース解約損	—	3
特別損失合計	62	11
税金等調整前四半期純利益	1,103	446
法人税、住民税及び事業税	202	168
法人税等調整額	129	259
法人税等合計	331	428
少数株主損益調整前四半期純利益	772	17
少数株主利益	0	0
四半期純利益	772	17

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	772	17
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	19
為替換算調整勘定	△139	△26
その他の包括利益合計	△185	△7
四半期包括利益	586	10
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	586	10
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,704	6,943	1,778	27,426	240	27,666	—	27,666
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	212	—	212	420	633	△633	—
計	18,704	7,155	1,778	27,639	661	28,300	△633	27,666
セグメント利益	981	107	51	1,140	25	1,165	37	1,203

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額37百万円には、セグメント間取引消去37百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,250	3,129	2,074	24,454	261	24,716	—	24,716
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	15	0	16	418	434	△434	—
計	19,250	3,145	2,074	24,470	680	25,150	△434	24,716
セグメント利益 又は損失(△)	993	△609	90	474	31	506	△0	505

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円には、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「エンジン部品」のセグメント利益が54百万円増加し、「機械装置」のセグメント損失が4百万円減少し、「環境機器」のセグメント利益が4百万円増加しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。